

事務事業マネジメントシート(平成25年度実績と平成26年度計画)

平成27年 1月28日更新

事務事業名		アニメ・マンガを活かした地域活性化事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	3	働く人々が輝き続けるまちづくり			所属部	政策部	課長名	坂本政誠
	施策	13	働く場の確保と企業誘致の促進			所属課	政策課	担当者名	高来登
	基本事業	40	企業誘致の促進			所属班	政策班	(内線)	1234
予算科目	会計一般	款2	項1	目9	事業連番11586	法令根拠	成果優先度評価結果：① コスト削減優先度評価結果：②		
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 25年度で終了 <input type="checkbox"/> 25年度から開始		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 24年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度		(年度) ~ (年度)			

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】	平成24年度に実施したアニメ・マンガのクリエイター育成塾「響創塾」で制作された作品について市民周知を行う。将来的には制作コンテンツを活用した国内・海外からの観光客誘致、アニメーション制作企業誘致と雇用創出を目標とする。
(開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	
【業務の流れ】	・制作された作品周知
【主な予算費目】	
【意見や要望】	・農業の遊休地・後継者問題更には雇用問題の解消を行うことは市の責務でもあり、市長マニフェストでは、この対策としてアニメ文化を活かした(例えば、デジタルコンテンツ産業の誘致、原画家の育成等)取り組みとして掲げている。 ・全国では、マンガ・アニメ文化によるまちづくりに取り組んでいる自治体が増えている。県議会及び本市を含む近隣市議会においてもマンガ・アニメによるまちづくりに関心が高まっている。 ・包括連携協定を締結している熊本高等専門学校からはぜひこの事業により、同校の人的資源を活かすと共に、新たな施設ICTセンターを利用した地域貢献を行いたいとの意見が寄せられている。合志市出身の漫画家を活かしたまちづくりを求めた声がある。
関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標	新規・拡充区分:
①手段(主な活動)25年度実績(25年度に行った主な活動)(DO)	26年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
響創塾で制作された作品を市民へ周知を行う。作品を活用しポロシャツの制作、ごみ減量ポスターへの掲載。	熊本こうし響創塾の運営支援
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 予算の主な増減の理由
→ ア 響創塾の開催回数	回 県補助金等の財源収入未定のため事業費の減
②対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	②対象指標(対象の大きさを表す指標) (単位)
・アニメ・マンガコンテンツクリエイターを志望する人 ・クリエイターを育成する場所	→ ア アニメ・マンガコンテンツクリエイター志望者 イ クリエイターを育成する場所
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	③成果指標(意図の達成度を表す指標) (単位)
・クリエイターとして育成する ・クリエイター育成の拠点として環境を整備する	→ ア クリエイターの育成人数 イ クリエイターの育成箇所数
*③成果指標設定の理由と26年度目標値設定の根拠	
企業誘致に伴う雇用創出	総トータルコスト 全体計画 ～ 年度 0

(2)各指標・総事業費の推移		単位	24年度実績(決算)	25年度実績(決算)	25年度目標(当初予算)	25年度実績(決算)	25年度目標(当初予算)	予定	見込	見込
①活動指標	ア	回		6	0	0				
②対象指標	ア									
③成果指標	ア									
投資入費量	事業内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
	人件費	(A)事業費計	千円		0	0	0			
		(A)のうち指定経費	千円		0	0	0			
		(A)のうち時間外、特勤	千円		0	0	0			
		正規職員従事人数	人		3	0	0			
		延べ業務時間	時間		996	0	0			
(B)人件費計	千円		4,054	0	0					
トータルコスト(A)+(B)	千円		4,054	0	0					

事務事業名	アニメ・マンガを活かした地域活性化事業	所属部	政策部	所属課	政策課
-------	---------------------	-----	-----	-----	-----

2 評価の部 (SEE)

*原則は25年度の後評価、ただし複数年度事業は25年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①25年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した 響創塾で制作されたキャラクターを職員用ポロシャツ・ごみ減量化ポスター・地域公共交通弁天カード等に活用を行い、アニメによるまちづくりを市民へPRを行った。	<input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】
	②26年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 九州で響創塾を取り組んでいるのは本市のみであり、アニメ等関連の企業より評価を得ているが、目標とするコンテンツ企業の誘致までは法規制の緩和や可能性から判断し達成まで時間を要する。	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 参加された塾生の技術活用や人材の育成について検討する必要がある。	<input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 類似する事業はない。	<input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 市の予算は使用していない。	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 最小限の人数で実施しているため削減余地はない。	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 今回の事業は市民募集による取り組みであり、将来的に企業誘致へと繋ぐ政策として実施している。	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 将来的にコンテンツ企業の誘致を目的にしているため行政の責務である。	<input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】

3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

平成25年3月にキャラクタードラフト会議を実施し、企業数社が受講生とキャラクターの採用協議を行った。また、職員ポロシャツ、地域公共交通弁天カード、ごみ減量ポスター等についてキャラクターの活用を行った。

4 今後の方向性(事務事業担当課案) (PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)																				
	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下		
				コスト																	
		削減	維持	増加																	
成果	向上																				
	維持																				
	低下																				
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 キャラクターの認知については、時間を要するため各事業における継続的な活用と地元企業等への紹介等を必要とする。																					